

防衛調達審議会 平成25年度活動報告（総論）

【はじめに】

防衛調達審議会は、防衛装備品等の調達における透明性・公正性確保のため、部外有識者による監視組織として発足し、防衛調達に関する規則等を調査審議し、必要に応じ、防衛大臣に対して意見を述べることであります。

同審議会はこれまで、防衛装備品の調達に係る契約をサンプリングし、適正性、効率性、合理性及び経済性などの観点に基づき、専門的視点かつ一国民としての視点から意見を述べ、防衛装備品調達の透明性・公正性向上のために微力ながら尽力してまいりました。昨年12月に閣議決定された「平成26年度以降に係る防衛計画の大綱について」等において求められるところとなった、ライフサイクルを通じたプロジェクト管理の強化、更なる長期契約の導入の可否や企業の価格低減インセンティブを引き出すための契約制度の更なる整備の検討といった視点は、同審議会でも繰り返し意見されてきたものであり、同審議会における意見の方向性は防衛計画の大綱と一致したものであると考えております。

この度、平成25年度防衛調達審議会の活動を取りまとめるに際し、個々の契約案件を審議した際の具体的な指摘内容とともに、審議を通じて得られた所見を述べさせていただき、調達関係職員の業務の一助、更には総合取得改革の検討の推進になれば幸いと考え、ここに御報告いたします。

【審議事項等】

平成25年度防衛調達審議会活動概要にあるとおり装備施設本部、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊及び技術研究本部を調査審議の対象とし、主として平成24年度契約の中から、個別の契約をサンプリングし審議を行う等してまいりました。

【審議における所見】

審議対象となったもののうち、主なものを述べさせていただきますと、PBL方式による初めての契約が「特別輸送ヘリコプターEC-225LPの機体維持及び整備業務」において締結されたところですが、PBL方式は、防衛装備品の維持整備の委託契約において、保有在庫の削減、可動率の向上及び維持整備費用の削減に大きく寄与することが期待されます。他の装備品への適用についても、本件を参考として情報

を共有し、逐次、改善点等の分析を行いつつ進めて行くことが必要ではないかと考えます。また、PFI方式による「Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業」の契約についても新たな取り組みとして注目されるところであります。

調達制度等の全般的な話としては、以下のような意見がありました。

- ・ 原価計算方式による予定価格の算定方法について、過去の契約における実績原価をベースにしていることから、企業側に価格を低減するためのインセンティブが働きづらくなっている。
- ・ プロジェクト管理の対象となるような装備品だけでなく、他の装備品においてもライフサイクル・コストを意識した調達を行うべきである。
- ・ 前例主義的な硬直した調達に拘泥せず、民間の技術革新の力を引き出し、その結果として、より良い装備品が適切な価格で調達できるような発想を持つべきである。
- ・ 形式的な入札等を行い、結果として、1者応札を繰り返すことは適正性、効率性、合理性及び経済性のいずれも満たさないと考えられることから、随意契約の適用範囲の拡大を検討すべきである。
- ・ 将来的に有用性を持つ調達については、コスト・データベースの蓄積を行うべきである。
- ・ 民間企業の説明を容易に受入れるのではなく、民間企業と切磋琢磨できる専門家を省内に養成し、適切な評価ができるようにするべきである。
- ・ 国内における技術の蓄積という観点から、海外企業に委ねている製造や修理に係る技術も含め、一つ一つの調達の過程で得られる又は得られるべき技術や経験について、必要に応じて民間企業と協調し、防衛省、民間企業のいずれにも組織的に蓄積されるような調達の仕組みを考えるべきである。

調達制度全般については、総合取得改革推進プロジェクトチームや契約制度研究会においても調達改革に係る議論を進めていると承知しており、引き続き精力的な検討を期待します。

また、個々の審議においては、以下のような意見がありました。

- ・ 契約相手方が外注している費用について、製造原価に占める割合が高いもの、不確定要素が多いものなどは、契約相手方にその交渉を委ねるだけでなく、防衛省側でも外注費の価格構成や妥当性を確認する上で、必要に応じて原価監査を付ける

べきである。

ただし、海外企業に外注しているケースでは、その価格構成の確認が十分にできない、若しくは固定費的なもので価格構成といったものがないと思われるものがあることから、契約相手方を通して海外企業からの説明をしっかりと聞く必要がある。

- ・ 市販されている物品の購入においては、市場での実勢価格を審議の場で回答できないケースがあることから、予定価格を算定する際には、単に事業者からの見積書の入手や前例価格の確認に留まらず、市場における実勢価格を良く把握し、比較検討することが必要である。
- ・ 1 者応札契約に係る審議においては、調達数量をまとめすぎたために 1 社応札になってしまったのではないかとと思われるケースがあることから、経済的合理性と競争性のバランスを常に意識して調達を行うべきである。
- ・ その他、法定監査が求められていない企業との硬直的、継続的な契約では、調達の安定性に留意するとともに、コンプライアンス体制についてしっかりと確認を行うこととし、特に秘に指定された物件の製作、修理等を委託している場合には、秘密保全上の観点からも留意が必要である。

防衛省におかれては、引き続き適正な防衛装備品調達に努めて頂くとともに、その更なる改善に向けた検討を進めて頂くことを期待します。

以下、平成 25 年度防衛調達審議会活動概要を添付し、活動報告とさせていただきます。

平成 26 年 5 月
防衛調達審議会

平成25年度防衛調達審議会活動概要

1 開催状況

平成25年度においては、第110回から第117回（計8回）の防衛調達審議会を開催するとともに、航空自衛隊の部隊活動及び装備品等の運用状況及び整備業務について現地視察を実施した。また、10月に開催を予定していた審議会は台風の影響により中止としたため、事後の審議会において議事を追加し、当初の予定どおり全審議を終えた。

2 委員

会 長	渡邊 一弘	（弁護士、東海大学法科大学院教授）
会長代理	尾畑 裕	（一橋大学大学院商学研究科教授）
委 員	奥宮 京子	（弁護士 田辺総合法律事務所）
委 員	藤川 裕紀子	（公認会計士、藤川裕紀子公認会計士事務所）
委 員	堀内 三郎	（公認会計士、明治安田生命保険相互会社社外取締役など）
委 員	山口 更織	（公認会計士、有限責任監査法人トーマツ）
委 員	山田 澤明	（株式会社野村総合研究所 監査役）

3 調査審議対象機関

陸 上 自 衛 隊（補給統制本部・北海道補給処・東北補給処・関東補給処・関西補給処・九州補給処）
海 上 自 衛 隊（補給本部・艦船補給処・航空補給処）
航 空 自 衛 隊（第1補給処・第2補給処・第3補給処・第4補給処）
技術研究本部（本部）
装備施設本部（中央調達）

4 調査審議等の状況

（1）サンプリング調査審議の状況

平成25年度のサンプリング調査審議において、調査審議した件数は次表のとおり

平成25年度 サンプリング調査審議の実施契約件数

開催回	調査審議 対象機関	随意契約等に係る サンプリング調査 審議	1者応札・1者応募案 件に係るサンプリ ング調査審議	計
第111回 (25. 5. 29)	装備施設本部	1件	6件	7件
第112回 (25. 7. 17)	海上自衛隊	(補給本部) 1件	8件	9件

第113回 (25. 9. 18)	技術研究本部	(本部) 1件	8件	9件
第114回 (25. 11. 13)	航空自衛隊	(第3補給処) 1件	11件	12件
第115回 (25. 12. 18)	陸上自衛隊	(関東補給処) 3件	8件	11件
小計		7件	41件	48件
仕様書等に係るサンプリング調査審議				
第116回 (26. 2. 19)	全機関*	11件 (陸自2件、海自4件、空自3件、技本1件、装施本1件)		
計		59件		

※ 「全機関」とは調査審議対象機関全てのことをいう。

サンプリング調査審議における主な指摘事項等は、別添「平成25年度防衛調達審議会 サンプリング調査審議実施状況」のとおり

なお、別添「平成25年度防衛調達審議会 サンプリング調査審議実施状況」に記載の主な指摘事項等に対するフォローアップとして平成26年度の審議会において、改善状況等の報告をすることとしている。

(2) フォローアップの実施状況等

サンプリング調査審議での指摘事項等に対するフォローアップについては、比較的短期間で改善等が行われる項目とある程度の検討期間が必要な項目があることから、例年、調査審議の翌年度の4月と12月の2回報告を実施している。

平成25年度においては、平成24年度サンプリング調査審議での指摘事項等に対するフォローアップを第110回（平成25年4月）と第115回（平成25年12月）の2回実施した。

(3) 過大請求事案についての報告

第110回審議会において(株)ネットコムセック、第114回審議会において日本航空電子工業(株)による過大請求事案について各々報告を行った。今後、特別調査の結果については審議会へ報告することとする。

また、平成24年度に過大請求が発覚した(株)島津製作所及び(株)鶴見精機に対しては、平成26年3月25日、特別調査終え返納金が国庫に納入されたため、指名停止の措置を終了した。加えて、古野電気(株)による過大請求が新たに発覚したことから、合わせて、次回の審議会において報告することとする。

5 各回の審議概要

【第110回審議会】 平成25年4月17日（水）10：00～12：10

- 平成24年度防衛調達審議会の活動概要
平成24年度に開催された防衛調達審議会の審議概要等を取りまとめ、報告
- 平成24年度サンプリング調査審議のフォローアップ（第1回）
平成24年度に実施されたサンプリング調査審議での指摘事項等に対し、フォローアップ状況を中間報告
- （株）ネットコムセックによる過大請求事案について報告
- 入札状況報告（平成24年度1・2／四半期）
 - ・ 平成24年度第1・第2／四半期に行われた装備品等の競争入札を対象に、経理装備局監査課において不自然な入札案件を抽出し、調査審議
 - ・ 調査審議の結果、必要があれば、担当する調達実施機関に通知

【第111回審議会】 平成25年5月29日（水）10：00～12：45

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成24年度装備施設本部）
「潜水艦用発電機（24SS用）」について調査審議
- 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議（平成24年度装備施設本部）
1者応札4件、1者応募2件について調査審議

【現地視察】 平成25年6月12日（木）～13日（金）

- 12日（木）航空自衛隊春日基地
(西部航空方面隊司令部、西部航空警戒管制団等)
- 13日（金）航空自衛隊築城基地
(第8航空団、第2高射群第7高射隊等)

【第112回審議会】 平成25年7月17日（水）10：00～12：20

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成24年度海上自衛隊補給本部）
「P-1の技術維持活動（機体）」について調査審議
- 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議（平成23年度海上自衛隊）
1者応札6件、1者応募2件について調査審議

【第113回審議会】 平成25年9月18日（水）10：00～12：30

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成24年度技術研究本部）
「先進技術実証機の地上支援器材の製造」について調査審議
- 1者応札・1者応募に係るサンプリング調査審議（平成24年度技術研究本部）
1者応札5件、1者応募3件について調査審議
- 陸上自衛隊新多用途ヘリコプター開発事業の企業選定に係る事案に関する調査報告

【第114回審議会】 平成25年11月13日（水）10：00～12：30

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成24年度航空自衛隊第3補給処）
「ASEシステム維持」について調査審議
- 1者応札・1者応募に係るサンプリング調査審議（平成24年度航空自衛隊）
1者応札8件、1者応募3件について調査審議
- 装備品等の調達効率化に係る施策について
総合取得改革推進グループにおいて検討されている装備品等の調達効率化に係る施策について説明
- 日本航空電子工業(株)による過大請求事案について報告

【第115回審議会】 平成25年12月18日（水）10:00～12:30

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議（平成24年度陸上自衛隊関東補給処）
「誘導武器部品自動倉庫用機器等の保守整備」、「火器・車両部品自動倉庫用機器等の保守整備」及び「通信電子部品自動倉庫用機器等の保守整備」について調査審議
- 1者応札・1者応募に係るサンプリング調査審議（平成24年度陸上自衛隊）
1者応札6件、1者応募2件について調査審議
- 平成24年度に実施されたサンプリング調査審議での指摘事項等に対し、フォローアップ状況を報告（第2回）
- 会計検査院による平成24年度決算検査報告の概要について報告
- 入札状況報告（平成24年度第3・第4／四半期）
 - ・ 平成24年度第3・第4／四半期に行われた装備品等の競争入札を対象に、経理装備局監査課において不自然な入札案件を抽出し、調査審議
 - ・ 調査審議の結果、必要があれば、担当する調達実施機関に通知

【第116回審議会】 平成26年2月19日（水）10:00～12:30

- 仕様書等に係るサンプリング調査審議（平成23年度、平成24年度 陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、技術研究本部、装備施設本部）
 - ・ 1者応札5件、1者応募6件について調査審議
- 平成26年度防衛予算（案）の概要について説明
- 平成26年度防衛調達審議会開催計画等について事務局から説明、了承

【第117回審議会】 平成26年3月19日（水）10:00～11:40

- 「平成26年度以降に係る防衛計画の大綱について」及び「中期防衛力整備計画（平成26年度～平成30年度）について」における防衛装備品等の調達関連について
～装備品等の調達効率化に係る施策について～

※ 随意契約等、1者応札・1者応募案件及び仕様書等に係るサンプリング調査審議での指摘事項等については、別添のとおり

平成25年度防衛調達審議会 サンプルング調査審議の主な指摘事項等

(随意契約等、1者応札・1者応募案件及び仕様書に係るサンプルング調査審議での主な指摘事項等)

開催回	対象機関	審議区分	契約方式	契約件名	主な指摘事項等 (平成26年度の審議会においてフォローアップ)
第111回 (25・5・29)	装備施設本部	随意契約等に係るサンプルング調査審議	随意契約	「潜水艦用発電機(24SS用)」 (概要) ○ 潜水艦用発電機とは、ディーゼル機関により発電機を駆動して、主に潜水艦のスクリューを電気駆動するための電力を電池に供給するためのものであり、潜水艦1隻に対して2基搭載されている。 ○ 本件は、潜水艦用発電機を2基調達する製造請負契約であり、当該発電機2基は、本件とは別に契約されている潜水艦の製造過程において官側から支給されるものである。	契約相手方が下請け企業に発注している発電機について、平成23年度発注実績額に対して、見積額が約10%上昇しており、その要因については、企業間の交渉結果であるとのことであるが、説明としては不足しているのではないか。 特別な仕様であるから高くなるのだと思うが、具体的にどのような部分で価格が高くなるのか。
		1者応札・1者応募案件に係るサンプルング調査審議	一般競争 (不落随契を含む)	(1者応札) ・潜水艦用主蓄電池(SCG・維持用)(関連含め2件) ・特別輸送ヘリコプターEC-225LPの機体維持及び整備業務 ・Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業	【特別輸送ヘリコプターEC-225LPの機体維持及び整備業務】 委: 本件は確定契約であるが、次回契約に向けて、コストを把握するなどの価格算定の方針はあるか。 防: 原価監査は付していないが、実際の業務の内容や発生する費用との関連について、何らかの方法で確認することを検討していきたい。
			随意契約	(1者応募) ・主機械LM2500IEC型ガスタービン機関(24DDH用) ・Xバンド衛星通信事業に関するコンサルタント役務	特になし
第112回 (25・7・17)	海上自衛隊	随意契約等に係るサンプルング調査審議	随意契約	「P-1の技術維持活動(機体)」 (概要) ○ 本件は、固定翼哨戒機P-1の機体に係る技術維持活動を実施する役務請負契約であり、契約期間は平成24年9月から翌年の8月までの1年間とし、毎年度、当該契約を行っていくものである。	特になし
		1者応札・1者応募案件に係るサンプルング調査審議	一般競争 (不落随契を含む)	(1者応札) ・(海外修理) TFE731-2-2B型エンジン部分修理及びMPI作業8個 ・武器等用部品(製造者規格品)「ANTENNA SWITCH COUPLER」外 ・ソノデータ記録装置AN/AQH-4(V)2用テープ修理1000巻 ・(海外修理) 慣性航法装置LTN-72用モジュール修理5個 ・防振ゴム(NDS規格品) MOUNT, RESILENT 外 ・複写機 艦船用1形	特になし
			随意契約	(1者応募) ・P-1型航空機用部品(国産) CORE ENGINE MODULE ほか3件 ・武器等用部品(専用品)「機雷探知機ZQS-3、4用 SOUJYU HAKI」外	特になし
第113回 (25・9・18)	技術研究本部	随意契約等に係るサンプルング調査審議	随意契約	「先進技術実証機の地上支援器材の製造」 (概要) ○ 本件は、先進技術実証機の飛行試験の際に必要な点検器材及び整備器材等の各種地上支援器材186品目の製造請負契約である。	ある点検器材は点検用のコンピューターとのことであるが、価格が高価すぎるのではないか。ハードウェア部分は高価ではないと思うが、その他に本器材を使用するにあたってのノウハウやマニュアルといったものが含まれているのか。価格の構成はどのようにになっているのか。
		1者応札・1者応募案件に係るサンプルング調査審議	一般競争 (不落随契を含む)	(1者応札) ・統合電波システム主要構成要素用試験装置の製造 ・潜水艦の耐圧殻構造様式に関する基礎資料の作成(その2) ・自衛隊デジタル通信システム(戦闘機搭載用)の指揮統制用JDC地上システム設置準備作業(その1) ・自衛隊デジタル通信システム(戦闘機搭載用)の指揮統制用JDC地上システム設置準備作業(その2) ・ハードウェア技術に関する調査研究	特になし
			随意契約	(1者応募) ・次期輸送機試作01号機等の改修等(その1) ・将来ネットワーク型多目的誘導弾システム用画像データ取得装置の製造 ・生物剤検知モジュールの製造	特になし

開催回	対象機関	審議区分	契約方式	契約件名	主な指摘事項等 (平成26年度の審議会においてフォローアップ)
第114回 (25・11・13)	航空自衛隊	随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	「ASEシステム維持」 (概要) 本件は、F-2戦闘機に搭載されている電子機器の機能試験を実施する装置であるASEシステム(ASE: Avionics Support Equipment)の適正な管理及び改善等を行う役務請負契約である。	1. 防: 海外企業からは契約相手方に対してマンスリー・レポートが提出されているということであったので、今後は、契約相手方への原価の確認と共に作業状況の確認を行っていくこととした。 委: そこが限界であれば、そこを改良していく事も考えていかなければならないと思う。
					2. 契約相手方と海外企業が交わしている契約書を当審議会に提出することはできないのか。工数等の記載が書かれているのか、それともロイヤリティ的なものなのか、契約書があれば分かりやすい。
					3. (海外企業への下請負価格について) 下げる余地が無いのであれば、費用を固定にした方がむしろ人件費等も掛からず合理的ではないかと考えるがどうか。
第115回 (25・12・18)	陸上自衛隊	1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議	一般競争 (不落随契を含む)	(1者応札) ・事務共通システム用データ移行等(その3) ・CABLE ASSY(電力用)外1品目 ・トナーカートリッジ シアン 外 1, 178品目 ・トナーカートリッジ 外126品目 ・トナーカートリッジ(2本入り)外131品目 ・磁気テープ(1/2インチ) ・航空自衛隊法規類追録外5品目 ・MICROWAVE OVEN外1品目	【トナーカートリッジ シアン 外 1, 178品目】 【トナーカートリッジ 外126品目】 【トナーカートリッジ(2本入り)外131品目】 プリンター本体を購入する際に、カートリッジの価格と使用予定数量なども含めて、トータルコストとして何年使用したら、いくら位かかるといった試算を各メーカーの同等機種で比較して欲しい。
		随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	(1者応募) ・CABLE ASSY, RADIO FREQUENCY, BRA外2品目 ・MODULE, RECEIVER TRANSMITTER ・C3I システム維持 「誘導武器部品自動倉庫用機器等の保守整備」 「火器・車両部品自動倉庫用機器等の保守整備」 「通信電子部品自動倉庫用機器等の保守整備」 (概要) 本件は、陸上自衛隊関東補給処に所在する装備品用部品の自動倉庫に係る年間の保守整備契約である。	特になし 出し入れの頻度が高いものはパレットの稼働を効率的に実施することや、3倉庫を比較して、より、効率化が図れるような方策を引き続き検討して欲しい。
		1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議	一般競争 (不落随契を含む)	(1者応札) ・シュレッダー ・駐屯地等情報基盤装置(北部方面隊)構成用品他2品目 ・音楽隊冬服 陸2Y 他54品目 ・演奏服 女子 陸 甲 冬服上衣O 他51品目 ・写真処理装置 JPH-H240-C ・整備服1号 他4品目	【写真処理装置 JPH-H240-C】 市場で販売されている価格を調べていないとのことであるので、しっかりと把握するべきである。
			随意契約	(1者応募) ・88式地对艦誘導弾の改修 ・FRONT FRAME ASSY 他58品目	特になし

開催回	対象機関	審議区分	契約方式	契約件名	主な指摘事項等 (平成26年度の審議会においてフォローアップ)
第116回 (26.2.19)	全機関	仕様書等に係る サンプリング調査 審議	競争入札	(1者応札5件) ①「防寒戦闘服、外衣、一般用」 ②「携帯型探照灯、2型」他1契約 ③「磁気テープ外3品目」 ④「戦闘糧食Ⅱ型 さんま蒲焼他2品目」 (複数者応札5件) ⑤「写真装置JPH-H7 他3品目」 ⑥「蛇腹鉄条網 チタン製」 ⑦「ラッタルカバー」 ⑧「自動細断機Ⅰ型 外58品目」 ⑨「FILM, PHOTOGRAPHIC 外 1品目」 ⑩「輸送役務」	① 防寒戦闘服、外衣、一般用 繊維の技術的発展は早く、仕様書作成から20年以上経過していることから、事業者の新しい提案を受ける入れる仕組みがあっても良いのではないかと。 ③ 磁気テープ外3品目 契約相手方の方に調達を依存している現状は、価格面及びコンティンジェンシープランという面でも問題があると感じられる。代替品の検討が望まれる。 また、自衛隊以外の使用先や米国の会社の販売先などの状況が分かれば、対応の方向性がみえてくるのではないかと。 ④ 戦闘糧食Ⅱ型 さんま蒲焼他2品目 これはどこでも作る事が出来る物であると思うので、調達側で何らかの形で競争性を作る努力をしないといけないのではないかと。 ⑩ 輸送役務 現状では、入札参加者が限られてしまうのではないかと考えられるため、分割発注の努力をしてみてもどうか。